



わが校のモルちゃん



北九州市学校飼育動物支援協議会



はじめに

人と人との接触機会が減少した現代社会において、動物と接し、その温もりや柔らかさ、かけがえのない命を実際に体感することは、子どもの発育・人間形成にとって極めて重要であると言われています。

しかし、実際に学校で動物を飼育する場合、日々の世話、病気の対応、別れの時など、先生方にとって大きな負担や不安が伴うこととなります。

北九州市学校飼育動物支援協議会（以下「協議会」とする）では、「ふれあい授業」、「学校訪問活動」や「モルモット情報交換会」（飼育校が集まり飼育等に関し意見等交換）を行い、様々な疑問解決や工夫事例紹介等により、負担や不安の軽減を図っています。

本冊子は、モルモット飼育校のうちご協力を得られた20校からお寄せいただいた「生きた学習教材モルモットの活用事例」をまとめたものです。各校とも自慢のモルモットを愛情豊かに紹介していただいています。

学校が安心して、動物飼育を通した心豊かな子どもたちを育てるよう私たち協議会は支援します。一緒に、笑顔あふれる学校動物飼育を始めませんか？



目次



北九州市における学校飼育動物支援事業について

《門司区》	小森江東小学校	1
	西門司小学校	2
	松ヶ江幼稚園	3
《小倉北区》	北小倉小学校	4
	三郎丸小学校	5
	寿山小学校	6
	福岡教育大学附属小倉小学校	7
	南小倉小学校	8
《小倉南区》	企救丘小学校	9
	曾根小学校	10
《若松区》	小石小学校	11
	深町小学校	12
	藤木小学校	13
《八幡東区》	ひびきが丘小学校	14
	八幡小学校	15
《八幡西区》	池田小学校	16
	折尾西小学校	17
	黒崎中央小学校	18
	熊西小学校	19～20
《戸畑区》	牧山小学校	21

北九州市における学校飼育動物支援事業について

1 目的

現在、小学校等で飼育されている動物の適正な飼育を助け、動物を通した子供たちへの心の教育を支援する。また、子供たちへペットの飼育に関する考え方やマナー、さらに野生動物についての考え方を啓発する。

2 活動主体

- ・北九州市教育委員会（指導第一課・学校保健課・施設課）
- ・（公社）北九州市獣医師会（学校飼育動物委員会）
- ・北九州市保健福祉局（動物愛護センター）

連絡調整のため上記メンバーで「北九州市学校飼育動物支援協議会」を立上げている。

3 活動内容

（1）実態調査

毎年、各学校・園に対して学校飼育動物に関するアンケート調査を実施

（2）指導者教育

シンポジウム、情報交換会等での教員に対する講演

（3）相談、診療等

獣医師会が担当。飼育動物の飼育や健康相談、また診療を行う。（対応マニュアルに沿って対応）

（4）講習会

獣医師会が担当。飼育委員会の児童等に飼育動物の生態や飼育方法、またふれあい方法などを講習する。

（5）飼育舎の新築・改修のアドバイス

獣医師会が対応。教育委員会や小学校の依頼により、適正な飼育施設についてアドバイスをを行う。

（6）飼育動物を通した病気や衛生管理について

鳥インフルエンザ等の病気に関する情報提供や衛生指導などを学校保健課と獣医師会が協力して行う。

（7）死亡動物の焼却

動物愛護センターが担当。学校長の依頼で持込まれた飼育動物を焼却する。

小森江東小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校のモルモットの名前は、「チョコちゃん」です。(投票数第1位)平成25年度から飼育活動を開始し、今年で4年目を迎えます。毎年9月の学習参観時に獣医師の関先生をお招きして「受け渡し式」を行っています。今年度からチョコちゃんへの負担を少しでも減らすために、1年生の教室と職員室の両方にケージを置くようにしました。下校時に当番児童が「チョコちゃんバスケット」に入れて職員室へ運んでいきます。ケージ内の片付けは、放課後、担任を中心に数名の職員が協力して行っています。子どもも職員も通りがかりに、えさやりや声かけを行って癒されています。



教室でのチョコちゃん



教室ケージ内のチョコちゃん



当番児童が「チョコちゃんバスケット」で運んでいる様子



職員室ケージにチョコちゃんを移す当番児童とサポートする担任



当番児童の餌やりをサポートする担任



職員室ケージ内のチョコちゃん

西門司小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校のモルモットの名前は、「きなこ」です。本年度より飼育を始めました。名前は中心となって飼育をしている環境・栽培・飼育委員会の児童で決めました。毛色がきなこのような色なので、「きなこ」という名前になりました。

飼育方法は、衣装ケースの中に吸水シート・新聞・すのこをひいて餌と水を与えています。飼育場所は、職員室前に置き、常時どの児童もモルモットと交流することができるように工夫しています。毎日、委員会を担当児童を決め、餌や水などのお世話をしています。

また休み時間には、中庭で遊ばせています。そのときには、委員会の児童だけでなく、低学年の児童にもモルモットと触れ合うことができます。活動の記録として、ファイルを作成し、気付いたことなどを記入するようにしています。



委員会以外の児童も
休み時間に交流に来ます。



餌や水の位置はできる限り
同じ場所にしています。



きなこです!!



休み時間には、アニマルハウスで
掃除などをします。

松ヶ江幼稚園



わが校のモルちゃんのご紹介

本園のモルモットは今年の5月にやってきました。1ヶ月は職員室でお世話をし、6月から園庭の飼育小屋で飼っています。モルモットの名前は、「くるみちゃん」「めぐみちゃん」「もるもっとん」です。年長組の子どもたちが話し合って決めました。

モルモットの世話は職員がしていますが、幼児もときどき家庭からキャベツの残りを持ってきてフェンス越しにやっています。本園のモルモットの好きなえさは、1位キャベツ、2位ティモシー（干草）、3位ペレットです。子どもたちや教師が近づくと「キュウイ、キュウイ」と鳴いて喜びます。

夏季休業中の飼育動物研修会には、毎年、本園のほとんどの職員が参加してモルモットの飼育の仕方について学んでいます。



【飼育小屋の様子】

飼育小屋のモルモット。左からもるもっとん、めぐみちゃん、くるみちゃん。



【飼育小屋の内部】

飼育小屋の中のモルモットの家。市販のおがくずを入れている。



【子どもたちのかかわり】

「ご飯食べにおいで。」「もるもっとん、今日も元気だ。」と遊びのあいまに飼育小屋をのぞく年長組の幼児たち。



【子どもたちのかかわり】

「〇ちゃん（自分の名前）が、ご飯あげるからねえ。」小さな声でモルモットにささやく年少組の幼児。

北小倉小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校のモルモットの名前は、「モルちゃん」です。毎年、2年生が飼育をしています。今年度も、7月に引き継ぎをし、9月の学習参観に獣医師の村田先生、田中先生をお招きして、モルモットの生態や世話の仕方などを教わりました。

日中は、2年生の教室の廊下にケージを置き、当番児童が世話をしています。週末は、職員室へ運んでいます。普段は、廊下にケージを置いているので、同じ階にいる1年生や3年生もモルモットに声を掛け、ふれあっています。



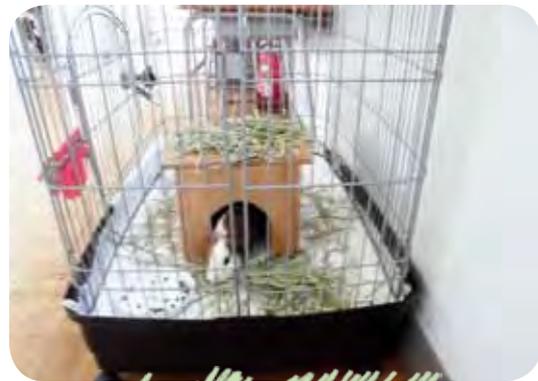
動物ふれあい学習 ①



動物ふれあい学習 ②



動物ふれあい学習 ③



モルちゃんのケージ



ケージの掃除



モルちゃんとのふれあい

三郎丸小学校



わが校のモルちゃんのご紹介



今年の9月に、新しく仲間入りしました。名前は、今全校から募集して、決めています。
人になでてもらうと、うれしそうに鳴きます。
爪切りのとき、じっとしてくれます。
人に慣れてきました。



新しく来たモルさんのお家

職員室で、キウイとは少し離れています。



キウイのお家

職員室の入り口で、子ども達によく話しかけてもらっています。



2年生や動物委員会が
昼休みに世話をしています。
夏休みは、2年生の希望者の家に
ホームステイをしました。
11月からは、1年生に世話を
引き継ぐ予定です。



こんにちは。
キウイです。



寿山小学校



わが校のモルちゃんのご紹介



本校のモルモットの名前は、「ゆうきくん」です。
児童が決定しました。雪のように白くてかわいい
という理由と勇気のある子に育ててほしいから
という理由から名づけました。

2年生の2クラスで1週間交代で飼育を行っています。その日の日直さんがケージのお掃除とえさやり
をします。モルモットのえさと一緒に大好物のよもぎやエノコロ草をあげています。



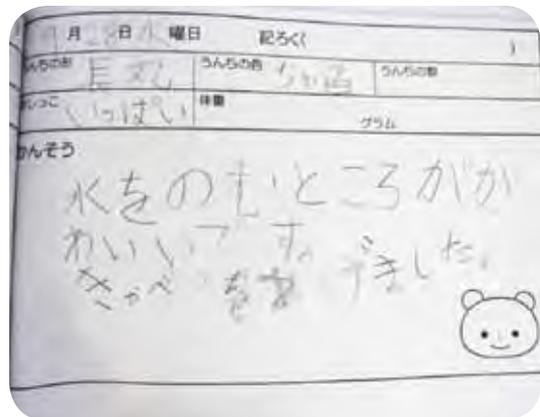
教室でのゆうきくんの様子



ゆうきくんのえさと牧草



飼育日誌



飼育日誌

福田教育大学附属小倉小学校

わが校のモルちゃんのご紹介

本校は、3頭のモルモットを飼育しています。第1学年は3クラスあり、各クラス1頭ずつ教室内で飼育しています。名前は、「モコちゃん」「ケニーちゃん」「ココロちゃん」です。

本校では、生活科の学習として、1年生の1学期（6月頃）に2年生の子どもからモルモットを引き継ぎ、約1年間飼育します。その後、子どもたちが2年生になると、1学期（6月頃）に引き継ぎ式をして、次の1年生へと譲るという学習を位置付けています。

また、この引き継ぎ式の前には、北九州市の獣医師の先生方にご来校いただき、1年生にモルモットの飼育方法を教える「ふれ合い教室」を行っています。

引き継ぎ式では、子どもが小屋の掃除や餌やりの仕方などのお世話の仕方を、2年生が1年生に伝えます。そのため、引き継いでからは、子どもで可愛がるだけでなく、自分たちで餌をやったり、小屋の掃除をしたりして、大切に育てる姿が見られています。



【1年I組のもこちゃん】

もこちゃんは、とても臆病でしたが、クラスの子どもたちが可愛がり、今では餌が欲しくなると鳴いて伝えてきます。



【1年K組のケニーちゃん】

ケニーちゃんは、食欲旺盛で一番よく食べます。レタスが好きでしたが、最近は、ニンジンが好きになりました。



【1年U組のころちゃん】

一番臆病だったころちゃんですが、今では餌が欲しくなると小屋から出ようとします。でも、全く鳴きません。



【小屋の掃除をする子ども】

みんなで交代して、きれいに掃除をしています。



【お世話の仕方を考える子ども】

どのようなお世話をするかよい考えを出合っています。



【モルモットとふれ合う子ども】

休み時間になると、抱っこしてふれ合っています。

南小倉小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

南小倉小学校で飼育しているモルモットの名前は「モモちゃん」と「ツムくん」です。2年生が世話をしています。1組が「モモちゃん」、2組が「ツムくん」を担当しています。「モモちゃん」は、モルモットのモをとって「モモ」、「ツムくん」はつむじがあるから「ツム」と、子どもたちが名づけました。世話は班で輪番で行っています。子どもたちは、モルモットをととてもかわいがり、大切に育てています。

「モモちゃん」は現在9歳（推定）です。6月と9月に体調を崩し、子どもたちも担任も大変心配しましたが、回復し、今は元気に過ごしています。

「ツムくん」は、小屋の上に飛び乗るほど元気なモルモットです。ツムくんのようにつむじのあるモルモットはとても珍しいそうです。



ツムくん



モモちゃん



動物ふれあい授業の様子



だっこもとても上手です

企救丘小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校のモルモットの名前は「パルルちゃん」です。

最初は4匹いたモルモットですが、現在はパルルちゃんの1匹だけです。

日中は、職員室前の廊下にケージを置き、昼休みに飼育委員会の子ども達がそうじや餌やりをしています。

職員も子どもも可愛いパルルちゃんの姿に癒されています。



廊下でのパルルちゃん



ケージの中のパルルちゃん



動物飼育の機会が少なくなった
子ども達が命の大切さを感じ、動物に対する
優しい気持ちを育む場として、二学期に
「モルモットふれあい広場」を行なっています。
希望する子どものひざに
飼育委員会の子どもがモルモットをおく。



曽根小学校



わが校のモルちゃんのご紹介



ぼくは、もっくん。モルモットのオスだよ。
いつもは、曽根小の職員室にいるよ。
ぼくのお世話は昼休みに飼育委員会の5、
6年生がしてくれるよ。大好きなのはタンポ
ポのくき。おやつがほしくて、甘えちゃうこ
ともあるよ。

9月2日に「あゆとも動物病院」の獣医師、片岡先生をお招きして、飼育委員会がモルモットの世話の仕方などを教えていただきました。先生のアドバイスを受け、飼育委員会は、毎日ウンチの数を数えたり、週に1回体重を量ったりして、体調管理に役立てています。11月からは、各クラスを回って、「ふれあいタイム」を予定しています。飼育委員会が上手な抱っこの仕方を教えて回ります。



小石小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校のモルモットの名前は「モコちゃん」です。昨年度の9月に本校にやってきました。昨年度、残念ながら、それまで本校の人気者だった、モルちゃん、ミミちゃんという2匹のモルモットが亡くなりました。(春休み中のことだったので、児童には後日知らされました。)2年生は、モルちゃん、ミミちゃんのお世話をするのをとても楽しみにしていたので、新しいモルモットを迎えたいということになりました。

昨年度の9月に飼育が始まり、2年生に名前を募集したところ、1番人気のあった、「モコちゃん」という名前に決まりました。毎日2人ずつ交代でお世話をし、可愛がり、昨年3月には2年生が1年生にお世話の仕方などを教える、集会をしました。その集会でお世話の仕方を詳しく習っていたので、今年度の2年生も、4月から上手にお世話をしています。

モコちゃんは、当番の児童が朝職員室に迎えに行き、日中は教室前の廊下で過ごしています。15分休みや昼休みは児童と触れ合い、当番は昼休みに、ケージの掃除などをします。放課後は当番の児童が、職員室に連れて行き、職員室のケージでゆっくり過ごしています。

休日は、あらかじめ決めている児童の家にホームステイをしています。(毎月月末にホームステイの希望調査をして、日にちを割り振っています。)ホームステイの準備は大変ですが、モコちゃんとたくさん触れ合えて嬉しいと、児童には好評です。夏季休業日中など、児童にホームステイをお願いできない時は、先生方にもご協力いただいています。



モコです。
2015年6月21日
生まれの
女の子です。



教室前の廊下にて。
秋～冬は木の小屋を設置します。



職員室内のケージにて。
この小屋の中でよく寝ています。

深町小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校のモルモットの名前は、「ブラウンさん」です。2年前にお世話をしていた子ども達を中心に名前を考えました。

本校は、一昨年から2年生が飼育を始めました。今年度の2年生は、昨年度の1月から数人ずつお世話の仕方を教えてもらい、練習を重ねてきました。4月からは、自分たちでお世話を頑張っています。5月に獣医師の関先生と村田先生に来ていただき「ブラウンさんよろしくね会」を行い、モルモットの特徴と飼育の仕方を詳しく教えていただきました。

日中は、2年生の教室の前の廊下にケージを置き、朝ケージ内の片付け、様子の記録の記入など、子ども達も責任を持ってお世話に励んでいます。

休み時間になると、ブラウンさんのケージの周りに集まって餌をあげたり、抱っこしたりして可愛がっています。



ぼくが、
ブラウンです。



お世話しています。



ここで
生活しています。



2年生になって半年たち、
お世話も上手に
なってきました。
これからも、
ブラウンさんといっしょに
勉強していきます！



藤木小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

昨年度の2年生より受け継いで、本年度2年生がお世話をしています。休みの日には2年生の保護者のお宅へホームステイして休み明けにまた2年生がお世話をしています。

みんな ふわりとチョコラが大好きです。1学期には動物ふれあい体験教室で獣医師の先生方に詳しい飼育の方法を教えてくださいました。



チョコラちゃんです！



ふわりちゃんです！

◎動物ふれあい教室で獣医の先生方に、いろいろ教えてくださいました。



◎職員室で、休みの前日の、ホームステイを待ちます。



ひびきが丘小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校のモルモットの名前は、「モモちゃん」と「フワフワくん」です。昨年度、2年生は2クラスでしたが、今年度は1クラスなので、モモちゃんは2年生、フワフワくんは職員が中心となってお世話をしています。2年1組では、児童32名が4名ずつのグループを作り、1週間交代で昼休みにケージ内の片付けやえさやりをしています。週末は、2年担任が自宅へ連れて帰り、お世話をしています。

3学期には、1年生に「引き継ぎ式」を行う予定です。



今からおそうじをします。
モモちゃんを段ボールへ
移動します。



消臭砂の上に
落ちたウンチを
取ります。

ケージの下に敷いている
すのこをきれいに洗います。



えさの
準備をします。

消臭砂の上に
ペットシートを
敷きます。



最近、
1年生がモモちゃんを見に
くるので、触らせてあげて
います。



モモちゃんは、
シラスが大好きです。
週末のホームステイで、
いつもシラスをもらって
食べています。



八幡小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

八幡小学校のモルモットは、「モルル」と「マロン」です。八幡小学校で4年間過ごしています。毎年、1学期に2年生が3年生から「飼育の仕方」を教わり、2年生が1年間、2匹のお世話をしています。普段、「モルル」と「マロン」は職員室で過ごしていますが、15分休みになると、2年生の当番の児童が2匹を迎えに来て、教室でケージの掃除などのお世話をします。2匹は、「牧草」が大好きで、いつもモグモグと食べ続けています。でも、本当に好きなのは、給食調理で出た野菜の切れ端です。冷蔵庫の戸が開くと、「野菜がもらえる」と思った2匹は「キューキュー」と大きな声でなき出します。



モルル (5才)



マロン (4才)



15分休みにお世話をする2年生



10月、マロンの爪が割れて出血しました。伸びた爪が、ケージの底に敷いてある「すのこ」にひっかかったようです。日頃から、まめに爪を切っていないと、爪の中に血管ができてしまうのだそうです。また、マロンの背中に垢のようなものがたまる毛母腫ができ、動物病院で受診しました。現在、経過をみているところです。

池田小学校



わが校のモルちゃんのご紹介



みいちゃんは、
気立ての優しいおばあちゃんモルモット。
平日は低学年児童が昼休みにお世話をします。
土日祝はその前日からボランティアの保護者が
自宅に持ち帰ってお世話をしてくれます。

ある日の1年生のお世話の様子



普段の飼育場所から教室横へ。



静かに、ていねいに運びます。



みいちゃんをハウスに戻します。



そーっと、みいちゃんを移しかえ。



移しかえたら、ふんの掃除をして、新聞紙を取り替え、えさと水を新しくします。

折尾西小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校では、モルモットを2匹飼育しています。茶色と白色の毛の男の子が「クッキー（クッキーの色に似ているから）」、黒色の毛の女の子が「ゆめちゃん（夢を与えてくれそうだから）」です。

9月に2年生からお世話を引き継ぎ、現在は、1年生がお世話をしています。どのクラスの子どもたちも、「早くお世話ができないかな」「私が近づくとお家から出てくるんだよ。早く会いたい」と、お世話の順番が回ってくるのを楽しみにしています。

日中は、廊下にケージを置き（冬は、教室や職員室）、金曜日の昼休みに職員室に運びます。土・日曜日は家庭にホームステイをつのり、お願いをしています。



クッキー



ゆめちゃん



ケージの様子



ホームステイセット

モルモットのお世話の様子



2年生から引き継いで1週間は、お世話の仕方を教えてもらいました。



お世話をする様子①



お世話をする様子②

ふれあい動物体験の様子

9月26日（月）に、獣医師の方々に来ていただいて、ふれあい動物体験を行いました。お世話を始めて3週間程たったころだったこともあり、詳しいお世話の仕方やモルモットの体のつくり等、関心をもって聞きました。



心臓の音を比べてみよう



国語科や生活科の学習で…

お世話や学習の中で、モルモットの様子を観察して、分かったことや気づいたことを文に書きました。



チョコとのお別れの会

一昨年、折尾西小にやってきたチョコが、顎のずれ等が原因で亡くなりました。放送でチョコが頑張ってお世話を受けてきたこと等をお話してもらい、お別れの場を設けました。たくさんのお友達が手紙等を持ってお別れに訪れました。命の大切さをチョコに教えてもらいました。



黒崎中央小学校

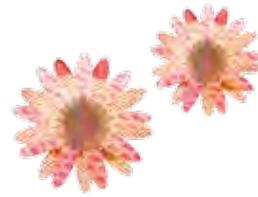


わが校のモルちゃんのご紹介



サブ

2012. 6. 8生 オス
父：フォンダン 母：タルト



モコ

2012. 6. 13生 オス
父：フォンダン 母：コマキ



ジャンプ

2012. 6. 7生 オス
父：フォンダン 母：ライチ

夏休みに、歯が伸びてえさをあまり食べれなくなり
痩せてしまったが、現在は回復し、えさも食べられる
ようになった。

本校では、飼育委員会が主に世話をを行っている。休日は、職員が持ち帰ったり、学校に世話をしに来ていたりなど、休日の世話の仕方が課題となっている。飼育委員会では、子どもたちと触れ合う機会をつくるために、モルモット集会を週2日（モルモットのストレスにならないように）行っている。各クラスの半分程度の児童たちと触れ合い、モルモットの可愛さや、命の大切さを感じてもらえるようにしている。



熊西小学校



わが校のモルちゃんのご紹介



熊西小学校には3匹のモルちゃんがあります。
3匹とも性格が全く違います。そんな3匹をご紹介します～!

モルモット界のジャニーズジュニア

モモタ (2の1)



生まれてすぐに熊西小にやってきたエリート。シャイボーイで人が近寄ると、すぐにかくれてしまいます。最近、えさのおねだりを覚えました。お顔が美しい!!

モルモット界のよしもと芸人

チロル (2の2)



くいしんぼうで、いつも口をもぐもぐ……。愛嬌たっぷりにえさのおねだりをします。下唇がチャームポイント!

ぼくたちのお世話は、
子どもたちがしてくれるよ。
子どもたちのお家にお泊りもするよ。



モルモット界の個性派俳優

つむじー (2の3)



熊西小に一番長くいるモルモット。ベテランの貴祿があり、子どもたちにも慣れていきます。名前の由来のつむじがチャームポイント!



レタスはごちそう!
大好き～♡



モルモルニュース



最近のモルちゃんの様子をお伝えします～

モモタお誕生日♪

9月24日はモモタの1歳の誕生日でした! 子どもたちが輪飾りや絵で飾ったり、職員がレタスをあげたりしてお祝いしました。



チロル、モデル!?



1年生の国語科の「しらせたいな、見せたいな」の学習で1年生が観察にきました。たくさん子どもたちに囲まれてびっくりしていたチロル。2年生が1年生にチロルのことを教える姿も見られました。

恒例の体重測定



最近、メタボが気になるチロル。週末は職員室で体重測定をします。

メンテナンス



イケメンモルモットとして、身だしなみは大切！爪を切ってもらいます。

学習中にも、ぼくたちのことが出てくるよ！



みんなのアイドル、モルちゃん

図画工作科「どうぶつさんといっしょに」



「どうぶつさんといっしょに」では、モルちゃんと自分を描いている子どもが何人もいました。

図画工作科「ひみつのグアナコ」



まんまるなグアナコを作っていると思ったら・・・チロルグアナコでした！特徴は、くいしんぼうだそうです（笑）
※グアナコ：想像上の生き物

熊西小の子どもたちも、
職員のみんなも
ぼくたちをかわいがってくれているよ！
幸せ者だな～

ぼくたちも熊西小のこと
だーいすき♡♡



牧山小学校



わが校のモルちゃんのご紹介

本校のモルモットの名前は「ココ」です。

7年前より2年生が飼育をしています。今年の6月に3年生より、2年生へ飼育の引き継ぎがおこなわれました。2年生は来年の5月まで飼育をします。当初は「キャラメル」「ココ」の二匹で、2年1組が「キャラメル」、2組が「ココ」でしたが、夏休みの7月29日に「キャラメル」の具合が悪くなりました。病院で手当をしたのですが、残念なことに翌朝に亡くなってしまいました。みんなで手紙を書きその死を悲しみました。

今は隔週で2年生が「ココ」のお世話をしています。休み時間にケージの中の掃除やえさやり、水やりをがんばって行っています。飼育当初は、ケージの中のふんに戸惑っていましたが、今では率先してできるようになりました。生命を大切にする心が少しずつ育ってきているように感じます。

休日のお世話ですが、全家庭に呼びかけてホームステイをお願いします。みなさん快く引き受けてくださりとても助かっています。



ケージの中の様子



毎日、飼育日誌を書きます



3年生からの引き継ぎ式



どろんどろんふれあい教室



キャラメルお葬式



掃除の様子

おわりに

北九州市で学校飼育動物としてモルモットを導入してから7年が経過しました。飼育校の先生方に、モルモットなどの動物飼育の意義や教育効果についてお聞きしたところ、多くの先生方から、命の大切さ、思いやりの心、責任感・協力する姿勢の芽生え、生き物への興味などが学べるという意見をいただきました。その他にも、心の安定、自己肯定感、子ども同士・先生と子ども・先生同士のつながりが強くなったなどの回答もあり、学校で動物を飼育することの大切さが伺えました。

協議会では、学校が動物を通した子どもたちへの心の教育を行うにあたり、前述の活動内容に下記活動を加えた様々なバックアップ体制で応援しています。

- 1) 到津の森公園のご協力により、健康で安全なモルモットを譲渡しています。
- 2) 動物は、毎年1回無料で健康診断を受けることができます。
- 3) 動物の体調が悪くなった場合、昼間は（公社）北九州市獣医師会会員の動物病院、夜間は北九州夜間救急動物病院が診療対応します。学校負担は2,000円／月以内。
- 4) 何でも相談窓口：（公社）北九州市獣医師会 電話 093-662-1054
<http://www.kitakyu-vet.com>
飼育対応マニュアルもダウンロードできます。



今回のこの冊子が、飼育校および今後飼育を考えている学校において、飼育動物による教育推進の一助となれば幸いです。

北九州市学校飼育動物支援協議会

わが校のモルちゃん〔平成28年度〕

平成29年3月作成

編集・作成

北九州市学校飼育動物支援協議会

〔（公社）北九州市獣医師会、北九州市教育委員会、北九州市動物愛護センター〕

協力：到津の森公園

事務局 北九州市保健福祉局動物愛護センター

〒803-0801 北九州市小倉北区西港町24-7

TEL 093-581-1800 FAX 093-582-8852

